



特集

絵本の力

言葉を理解していない赤ちゃんに読み聞かせをすると楽しそうに笑います。
子どもは何度も読んだ本なのに、「これ読んで!」と繰り返します。
読み聞かせを聞いている彼らの目には、絵本の中の世界が見えているようです。
大人だって、子どもといっしょに読んでいた絵本に涙があふれることがあります。
文字は少ないのに、読む人それぞれの心をくすぐるものがある。
今回の特集は「絵本の力」・・・絵本のあるうれしいひとときのお手伝いができればと思います。

問 市図書館 (☎1253)

絵本のある生活…

図書館の利用者や司書さんに、絵本との出会いやおすすめの本を聞きました。



お探しの本があったら声を掛けてくださいね。
(足立司書)

絵や色のはっきりした絵本から始めました。

1カ月の頃から文字のない図形やカラフルな本から始めました。5カ月になり、ストーリーのある本もおりこうに聞いてくれます。



一度読んだ本、昔に読んだ本をもう一度読み返してみるのも楽しいですよ。以前とは違う視点で見ると、新しく気づくことがきっとあります。ぜひお気に入りの本をたくさん作っていたださいね。最近のおススメは「モグラくんがみたおひさま」「ばけれんぼ」です。

伊藤十穂子
牛渡へ時に
読み聞かせを
やりしあひま。

だるまさん「の」

おさんをひざに抱きながらリズムをつけて「パッ」とページをめくると意外な展開があって楽しめます。絵もはっきりしていて、子どもの反応が良い絵本です。ページをめくる楽しさが味わえます。

本が好きになりました。

寝る前に図書館で借りた絵本を3冊読むようにしていたら、本が好きになりました。今も保育園で週に1冊借りて読んでいます。



旅の絵本

文字のない絵だけの本ですが、名画や物語の1シーンや隠し絵があったりと、読むたびに新しい発見があります。大人も子どもも楽しめる絵本です。



図書館には14,000冊以上の絵本があり、1年間の貸し出しは約5万冊になります。個人ではなかなか買えない大型絵本や仕掛け絵本もありますので、ご利用ください。人気のある絵本は傷むのも早いで順次買い替えています。傷みの激しい本をお貸しすることもありますが、ご家庭で読んでいて破れなどに気が付いたら、セロテープなどで補修をせずにそのままお返しください。返却時にカウンターで教えてもらえると助かります。

お子さんが寝る前に絵本を読んであげると、大人にとっても心安らぐひと

ときです。でも、絵本選びは最後まで読んで決めてください。途中まで読んで、絵もかわいいからと読み進めると、思いがけない結末でびっくりすることもあります（「まっくらひよこ」、「おおかみくんのホットケーキ」など）。

お気を付けてください。

土岐市図書館
塩見館長



図書館でよく読まれている絵本シリーズ
(2012年1～12月)



パムとケロのシリーズ
犬のパムとかわるのケロの日常を描く、ほのぼのとした心温まる絵本です。



ポケモンをさがせ！シリーズ
見開きいっぱいに登場するポケモンたちから、出題のポケモンを探します。



ミッケのシリーズ
絵探し絵本のシリーズ。友だちや家族と一緒に見つかることができます。

ぼくがきょうりゅうだったとき
いつもの公園のトンネルをくぐると恐竜の世界へ…



アンパンマンのシリーズ
みんなのヒーロー・アンパンマンが大活躍。



》知っていますか？ブックスタート

ブックスタートは1992年にイギリスで発祥しました。キャッチフレーズは、Share books with your baby! です。絵本を読む（read books）ではなく、赤ちゃんに絵本を開く楽しいひとときを分かち合う（share books）という思いの下、日本でも2000年の「子ども読書年」を機に紹介されました。

土岐市では、4か月児健診の際に一人一人の赤ちゃんに絵本を手渡し、赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくり心ふれあうひとときを持つ、ブックスタートについて紹介しています。



》どんな本を読んだらいいかわからないという方には「ほんナビきっず」

キャベツくんとブタヤマさんといっしょに本を探しに出掛けよう。

ほんナビきっずは、大阪国際児童文学館と筑波大学との共同研究の成果を生かした、子どもが自ら本に出会うことを目指したサービスです。ご家庭のパソコンでも、図書館の児童コーナーにあるパソコンでも使うことができます。

動画を見ながら画像を選択するだけでおすすめの本を探ることができたり、キーワードを選択していくことで本を選んだり、楽しい画面で子どもの読書への興味を促します。

